

# アレルギーのこどものために

食物アレルギー、ぜんそく、アトピー性皮膚炎などのこどもたちは、避難所などの食事や環境によって病気が急に悪化することがあります。

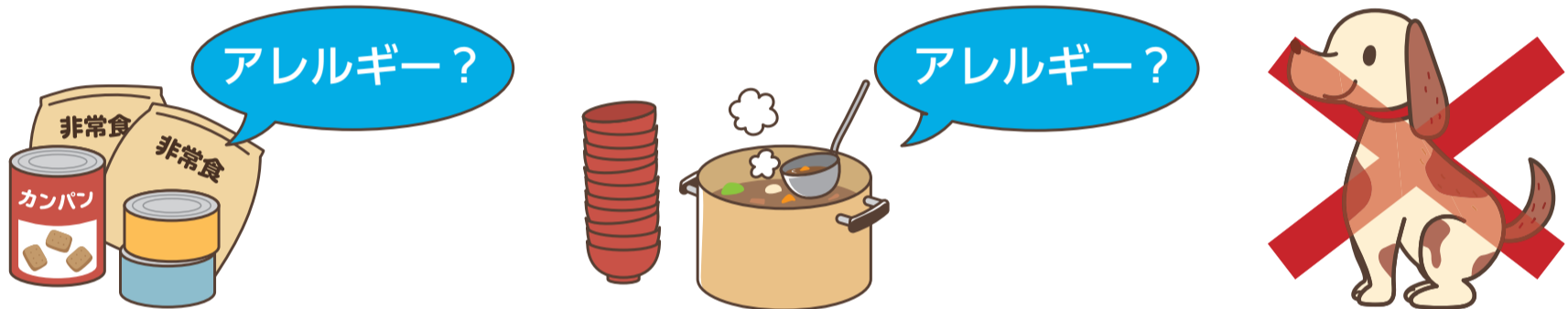
## ◆食物アレルギーのこどもがいたら行政担当者に知らせ、アレルギー対応食の支援を受けてください。

必要な除去食の内容（例：卵と小麦はダメ）やアドレナリン自己注射薬（エピペン<sup>®</sup>）を携帯してしていることなどの情報を行政担当者に伝えてください。



アレルギー用

## ◆アレルギーの原因となる食物、ほこり、ペットを避けましょう。



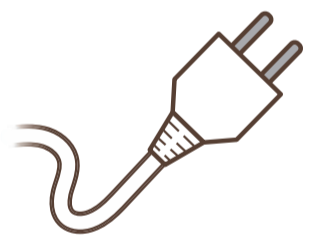
- ・ 支援食配給時、食物アレルギーのこどもに配慮をお願いします。
- ・ 炊き出しなどで調理に使っている食材を詳しく伝えましょう。
- ・ マスクなどでほこり、煙、粉塵を避けて、ペットは室外で避難させましょう。

## ◆治療に必要な電源や水、スペースを優先して使用させてください。

- ・ ぜんそく患者は電動の吸入器を毎日使用することがあります。
- ・ 毎日の清拭（ぬれタオルでやさしくぬぐうこと）やシャワーは、アトピー性皮膚炎の治療に必要です。

## ◆ぜんそく症状やアナフィラキシーがあるときには、すみやかに診察を受けましょう。

- ・ ぜんそく：強い咳き込みやゼーゼーする呼吸がある場合。
- ・ アナフィラキシー：食後に、急に咳き込み始めたり、強い腹痛や繰り返す嘔吐がみられた場合。エピペン<sup>®</sup>はなるべくその場で使用しましょう。



災害時のこどものアレルギーに関する相談窓口(無料)

▶メール相談：sup\_jasp@jspaci.jp



日本小児アレルギー学会

ホームページ URL：http://www.jspaci.jp/